

あけましておめでとうございます
 高次脳機能障害者小金井友の会
 いちごえ会
 たより 21号 2019年1月15日発行

編集責任者：増村幸子
 編集者：村田雅英
 〒184-0004
 小金井市本町 2-20-9-103
 ホームページ：https://ichigoe.org/
 メール：info@ichigoe.org



第17回交流会 2018年8月26日



いちごえ会の歌を合唱

交流会運営委員長は武藤和義さん、司会は副委員長山下晃司さん、記録担当は保手希一郎さんでした。

交流会のオープニングは恒例の「幸せなら手をたたこう」の合唱からで、山下晃司さんのリードで、みんなで元気よく歌いました。初参加の方、新入会の方、

中央大学緑川先生を始めゼミ生、当事者のお子さんたちの参加で若返り、家庭的で和やかな交流会でした。

第1部 自己紹介と近況報告

子供たちは大きな声で名前を云って元気と笑いが溢れ、初めての方、久しぶりの方は丁寧に自己紹介と近況報告、和やかな空気になりました。

第2部 体験発表

夏の思い出、やりたいこと4班に分かれそれぞれが話しました。

*高次脳機能障害者の引っ越しは荷物だけでなく、介護、自立支援などの受けているサービスの引継ぎが大変だったこと、*臨床心理士の国家試験を受けること、*種まきから収穫、販売まで行っている農業の仕事、*入院中に医師や看護師のお許しを得て患者さんのもとで早い段階から「就労準備の必要性」をご自分の経験から話しているなど、濃いお話ばかりでした。

未だ発症間もない方、就労準備中の方など大いに参考になりました。

初めての参加された方には優しく声掛けする等当事者主動の交流会でした。



元気いっぱいの自己紹介



真剣な話し合い



もう一人背中に
おんぶされています。

健康寿命延伸等を図るための脳卒中心臓病その他の循環器病に係わる対策に関する基本法 2018年12月10日成立、14日に公布されました。

目的 健康寿命の延伸と医療・介護の負担軽減

責務 国は循環器病対策を総合的に策定し実施する

政府は必要な法制上、財政上他の措置を講じ、都道府県は国と同様推進基本計画を策定する

理念 国・地方公共団体は生活習慣等の改善による予防、発症した人には搬送、受け入れ医療機関は迅速かつ適切な医療の実施、患者には良質かつ適切なリハビリテーションを含む医療の提供、後遺症のある人には医療及び福祉サービスの提供が継続的、総合的に行われるように保健、医療、福祉の連携協力体制を整備する。厚労省に循環器病対策推進協議会を置き都道府県は同じく設置するように努める。

この法律は公布日（2018年12月14日）から起算し1年以内に施行する。

今後都道府県の関係者と連携し当事者や家族にカスタマイズした運営をするためにこの法律に魂を入れましょう。

高次脳機能障害者支援法制定に向けて 2018年10月23日 シンポジウム

慈恵会医科大学付属第三病院 渡邊修氏

衆議院議員古川康氏

参議院議員山本博司氏

名古屋総合リハビリテーションセンター鈴木智敦氏

コメンテーター元武蔵野日赤院長富田博樹氏

現状を知りたいとの思いから参加しました。

慈恵医大の渡邊修先生や国会議員の先生など6人の方々の報告は大変参考になりました。肝心の「法律の制定に向けて」に関しては今後の課題と受け止めました。発達障害者の法律と同様、障害者総合支援法の下での具体法という位置づけは参考になるだろうとの見込みはあるが、高次脳障害の特徴をどう捉えていくか、等の意見交換がされました。五十嵐京子記

平成30年第1回北多摩南部医療圏研修会 英国に学ぶ、高次脳機能障害に対する 神経心理学的リハビリテーション

2018年7月29日

講師 神奈川県リハビリテーション病院 青木重陽氏

武蔵野市にある高次脳機能障害者支援事業所紹介

1高次脳機能障害相談室 ゆいっと

2アビリティーズジャスコ武蔵境センター

3ジョブアシストいんくる

当事者・家族が猛暑のさなか、多勢集まりました。

特に就労支援事業所の紹介ではそれぞれの方が、高い志をもって就労支援に励んでおられました。ある事業所では一人暮らしの当事者に寄り添い、自立されるまでの経緯は感動的でした。いちごえ会から五十嵐さんをはじめ、計6名で参加しました。

障害のある人もない人もともに学びともに 生きる社会を目指す小金井市条例可決

2018年6月29日

自立支援協議会委員、関係機関の方々の話し合いが実り、ようやく成立しました。今後はこの条例が障害者のみならず市民にとっても有効に運用されるよう、魂を入れ育てましょう。

小金井市障害者週間 シンポジウム 誰もが暮らしやすい小金井に

宮地楽器小ホール

スペシャルイベント

「パラリンピック出場小田島さんと一緒に車いすバスケットボールをしよう」

障害者家族会、市内作業所のポスター展示・即売会、障害児の美術展もにぎやかに開催されました。いちごえ会からも活動ポスターを展示しました。

子供向けに障害を理解できるようパンフレット作成することになり、いちごえ会から「高次脳機能障害について」原稿を提出しました。

上田敏先生による相談会シリーズ



2018年11月24日Kさん

遠路言語聴覚士綿森淑子先生が来て下さり、上田敏先生と一緒にKさんご夫妻の継続相談でした。前回から、半年後のKさんは、国リハ通所で順調に回復していました。奥様も体調が良くなり、明るい表情で相談を終えました。

2018年11月27日少年Kさん

同じく言語聴覚士綿森淑子先生と上田敏先生がご一緒にKさん親子の継続相談でした。久しぶりに会うKさんは大人っぽくなり、成長に伴い体力の増強と声が小さいので、発声訓練を勧められました。

2018年11月27日Mさん

就労支援を終えB型作業所への就労を希望しているMさんは通所先が見つからず、在宅でできる仕事を討中でした。左利きの失語症で高次脳機能障害と相まって、複雑な症状で対応に困っている家族に、指示は簡単明瞭に、紙に書くようアドバイスされました。

2018年11月27日Gさんの家族

Gさんはリハビリ病院に入院中、若く順調な回復で、復職できるように希望をもって介護するようアドバイスされました。

2018年11月24日、綿森先生、上田先生による面談、テストを夫と共に受けさせていただきました。今回で4回を重ねる面談ですが夫も回を重ねるごとに緊張も取れ、リラックスした様子でテストを受ける事が出来ました。そばで私も見学していましたが解答も以前より自信を持って答えている様子で、内容も今までなかなか出てこなかった単語がスラスラといくつか出てくるようになり私の目から見ても回復が感じられました。また先生方からも良い評価をいただきこれからのリハビリテーション、就業に向けての可能性として希望をもちました。先生方、増村会長、並びいちごえ会の皆様に感謝申し上げます。

柿原羊子

第3回

ほっと♡かふえ

2018年10月14日

司会 重盛恭一さん
準備・記録 保手希一郎さん

小金井市障害者就労支援センター・ボーバルさんと、一緒にアビリティーズ・ジャスコ立川から2人の就労支援員が参加されました。テーマは決めず、自由にそれぞれが発言しましたが「働く」ことに意見が集中しました。

高次脳機能障害者の就労で大事なものは、当事者の症状に合わせた仕事の切り出し、企業の柔軟な受け入れ態勢などを話し合いました。



増村幸子代表 市民功労賞を受賞

2018年10月7日

小金井市市制六十周年記念式典で市政市民に対する功労等が顕著であるとして表彰状を授与され、いちごえ会の仲間とともに喜びました。



「いちごえ会の皆様・支援者のお陰で受賞できました。今後も高次脳機能障害者が地域で働き、安心してともに暮らせるよう頑張ります」

増村幸子談



第18回交流会

穏やかな日とに恵まれお子さん連れの家族、中央大学心理学緑川ゼミ生、幅広い年代の方々がニコニコ笑顔で総勢60名集まりました。



山下さん 武藤さん

第1部 自己紹介・近況報告

発症後出来ていたことが急に出来なくなった無念さ、高次脳機能障害と診断されるまで長い間の不安、新しい自分を見つけて働きたい方など様々な発表で胸が熱くなりました。



或る大きな病院勤務の仲間が求人でも上司に新しい仲間を紹介し、彼女は新規採用されました。同じ部署で働くことが出来、紹介した先輩の温かい指導で、「本当に幸せ」と発表され祝福しました。

第2部 レクリエーション

中央大学緑川ゼミ生が主導、8名の班に分かれ班ごとに競い合いました。

ビンゴゲーム お子さんの元気な声や優しい女児の声、負けない大人の声は元気で微笑ましい風景でした。



ジェスチャーゲーム 学生さんの名演技に爆笑・歓声・苦笑、さまざまに愉快でした。最後にクリスマスソングを全員大声で4曲歌いました。

久しぶりの方には元気な様子を喜び合い、初めての方も皆さんと打ち解け、子供のにぎやかな声が家庭的で大きな元気を貰いました。Mさんから寄付とお菓子の差し入れを頂きました。中央大学緑川ゼミ生の皆さんの若くて元気な進行は上手で楽しかったです。福祉・医療・介護の分野に進んで欲しいと痛感しました。



インタビューする中大緑川先生



まいどー！リジョブ大阪の松嶋です。今年、いちごえ会に入会、クリスマス会も初めての参加でした。自己紹介での時間オーバー、とても共感します。皆さん、自分のエピソードを話したいんですよね。私もいつまでも聞いていたいと思いました。印象的だったのが発症してから診断がつくまでの苦痛。これはみなさんのせいじゃありません！そんな日を変えたい！がんばらないと！と決意を新たにしました。第二部は、緑川ゼミ生が大奮闘。上田先生のような大先生から、こんな若い方までいるいちごえ会は、素晴らしい。また、レクリエーションがとっても楽しそうでした！特にビンゴゲームは、子どもたちもみんながんばっていました。充実感（楽しかった！）と使命感（日本を変えていかなくては！）を胸に、冬空の下会場をあとにしました。

松嶋